



01 プロジェクトの概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」は、2022 年 3 月に策定された「東部振興構想」に掲げられた東部地域の将来像 “人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち” ～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～の実現をめざし、アクションプランに位置付けられた取組です。

このプロジェクトは、2022 年度から実施されています。昨年度（2023 年度）は3回にわたるワークショップ、LINE 等を活用した意見交換等を経て、合計7つのトライアル活動が実施されました。

今年度（2024 年度）は、これまでの活動を一部継続しつつ、新たな参加者を加えたワークショップ（全3回）、セミナーや交流会を行い、トライアル活動につなげることを目指しています。

この通信は、プロジェクトの進捗状況をお伝えするとともに、より多くの仲間・応援団を集めるために作成・配布するものです。

02 2024 年度 第1回ワークショップ

2024 年度は、4/28、5/12、5/26 の3回ワークショップを開催します。

第1回ワークショップは、以下のとおり開催されました。

日 時：令和6年4月28日（日）10:00～12:30

会 場：東部市民センター 講堂

参加者数：12 名

開催にあたり、小牧市東部まちづくり推進室、林室長からあいさつがあり、‘今年は3年目となる。失敗ができる活動。まずはやってみよう！’

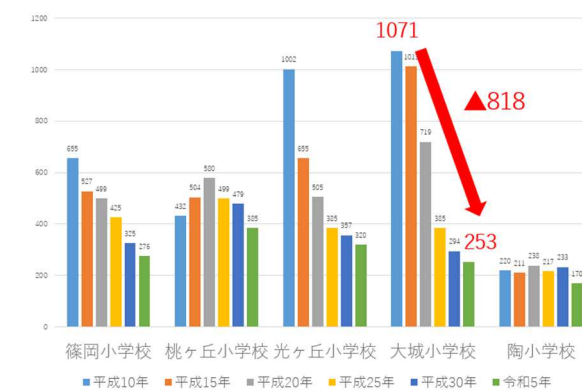
というプロジェクトの趣旨に基づく、楽しく活発な議論と取組へのお願いがありました。



03 ガイダンス

ガイダンスでは、事務局からプロジェクトの趣旨・目的の説明がありました。また、第1回は「こども」、「わかもの」、「多文化」、「多世代」というテーマから、興味・関心のあるものを選び、取組アイデアを出し合う方法で進めていくということも伝えられました。

東部地域の現状（小学校児童数）



Day1 4/28(日)

【テーマ】

①こどもとわかもの

②多文化や多世代



また、東部地域を取り巻く現状と課題について、地図や人口データ等を用いた説明がありました。

東部地域の学校は25年前と比べて児童・生徒の数が減っていることや、外国人人口数は毎年増加しており、地域に占める割合も大きくなっていることなど、テーマに沿ったデータが紹介されました。

04 自己紹介⇒「東部地域で私がやってみたいアイデア」をシェア

ガイダンスの後は、参加者全員がくるま座になって自己紹介を行い、名前や所属、活動等を共有し、顔見知りになりました。

続いて、参加者一人ひとりが「東部地域で私がやってみたいアイデア」をワークシートに書き込みました。

アイデアを考えるにあたり、「私に関心を持っていること」や「東部地域で課題に感じていること」などを書き出しながら、各々のアイデアを整理しました。

参加者からは、「多世代でお料理し交流したい」、「まち歩きをしながら東部地域の魅力を伝えたい」など様々なアイデアが出ました。



05 グループワーク・参加者間交流（3ラウンド実施）

個人ワークシートの後、途中でメンバーを入れ替える‘ワールドカフェ形式’でそれぞれのワークシートの内容を発表し合い、みんなのアイデアを元に参加者間で交流しました。

ワールドカフェは合計3回行い、1・2ラウンドは多世代で交流できるように事務局があらかじめグループを設定し、意見交換をおこないました。

1・2周目の意見交換では、「外国にルーツを持つ人との交流機会が少ないため、歩いて行ける身近な場所で多世代・多文化交流イベントを開催できないか」、「空き家を活用し、かくれんぼやeスポーツなど若い人に魅力的な場をつくれないうか」など活発なアイデアが飛び交いました。



3ラウンドは、2回の意見交換の中で「この人と話してみたい」、「こんなテーマで話したい」と思った人同士でグループをつくり交流を深めました。

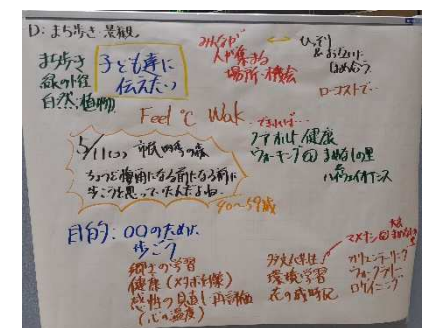
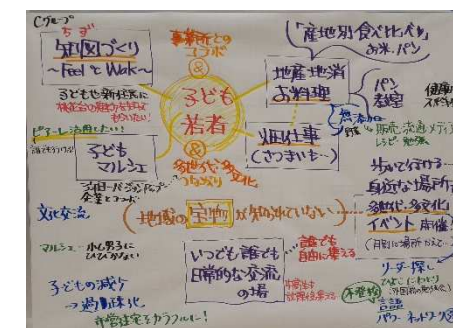
下記の3つの切り口がテーマとなり、4～5人に分かれてワイワイ楽しくアイデアを掛け合わせながら、議論が進みました。

【3つの切り口】

グループ1：空き家×多世代・多文化

グループ2：食×こども・わかもの

グループ3：まちあるき×こども・わかもの



第2回ワークショップは、「くらし」、「しごと」、「プロモーション」、「観光」というテーマに関心がある参加者を対象に、第1回と同様に取組アイデアを出し交流します。第3回は、第1・2回のメンバーが合流し、具体的なアクションにつなげるため、取組アイデアを膨らませるプログラムを予定しています。

01 開催概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」は、2022年3月に策定された「東部振興構想」に掲げられた東部地域の将来像“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～の実現をめざし、アクションプランに位置付けられた取組です。

全3回のプログラムによるワークショップを、東部市民センターで開催中です。

今回は第2回の様子をお伝えします。

日時：2024年5月12日（日）
10:00～12:30

会場：東部市民センター

参加者数：8名

当日のプログラム

第2回 テーマ

- ① くらしとしごと
- ② プロモーションや観光

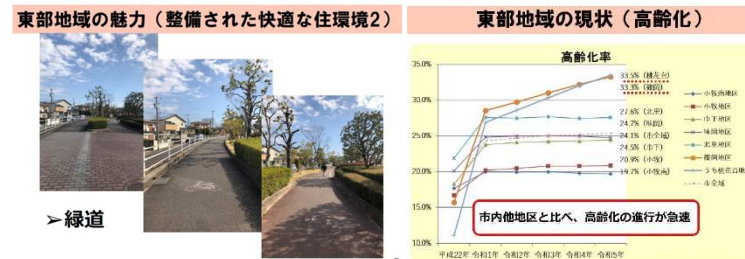
- 自己紹介、アイスブレイク
- 個人ワーク
- みんなでシェアしよう！
- クループワーク
- ふりかえり・総括



02 ガイダンス

東部地域を取り巻く現状と課題について、地図や人口データ等を用いた説明がありました。

東部地域の魅力について、豊かな自然や多様な産業など写真付きで紹介されました。人口減少や高齢化が急進していること、空き家数が増えていることなどの話もあり、テーマに沿った地域の現状を知ることができました。

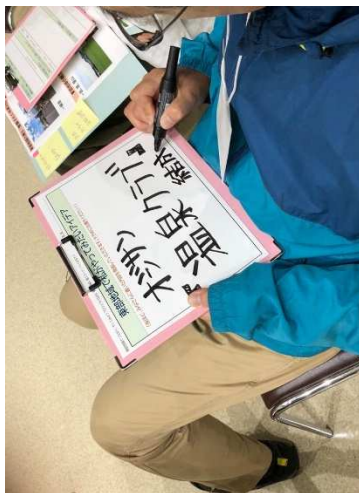


03 自己紹介、アイスブレイク

ガイダンスの後は、参加者全員がくるま座になって簡単な自己紹介を行いました。今回の参加者は8人と少人数でしたが、ユースチューバーの大学生さんや、地元出身中学校でバスケットボールのコーチをつとめている大学生さん、Day1 から引き続き参加してくれる建築関係の方など特技をもった若さ溢れる参加者も多く、会場に活気が生まれました。最近楽しかったことも話し、和やかな雰囲気となりました。



04 東部地域でやってみたいことをシェア



参加者一人ひとりが「東部地域で私がやってみたいアイデア」をワークシートに書き込みました。

アイデアを考えるにあたり、「私に関心を持っていること」や「東部地域で課題に感じていること」などを書き出すことで、各々のアイデアを整理しました。



参加者からは、「子どもが参加できるサバイバルイベントを開催し、まちなかではできない様々な体験をさせたい」、「市民四季の森で大きなイベントを開催したい」など様々なアイデアが出ました。

05 グループワーク・参加者間交流（3ラウンド実施）

個人ワークシートの後、途中でメンバーを入れ替える‘ワールドカフェ形式’でそれぞれのワークシートの内容を発表し合い、みんなのアイデアを元に参加者間で交流しました。

ワールドカフェは合計3回行い、1・2ラウンドは多世代で交流できるように事務局があらかじめグループを設定し、意見交換をおこないました。

1・2ラウンド目の意見交換では、「地産地消のイベントを在学中の大学で開催できないか」、「ワイナリーの1DAY体験ができれば楽しそう」、「子どもたちが自然アクティビティを楽しめるような取組ができないか」など活発なアイデアが飛び交いました。

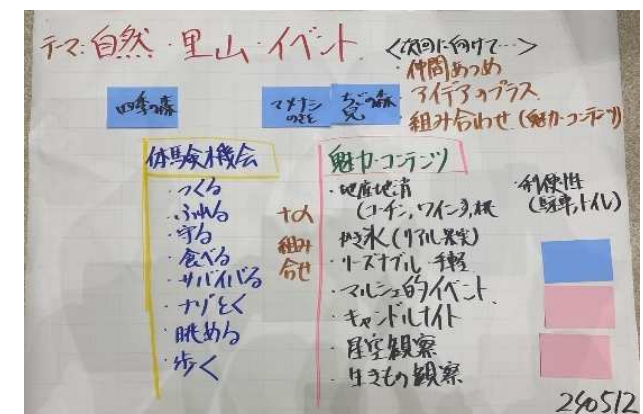


3ラウンドは、2回の意見交換の中で「この人と話してみたい」、「こんなテーマで話したい」と思った人同士でグループをつくり交流を深めました。

下記の2つの切り口がテーマとなり、5～6人に分かれて和気あいあいと議論が進みました。具現化に向けてのアイデアはもちろん、取り組んでいくにあたり出てくる課題も大まかに話し合うことができました。

【2つの切り口】

- | |
|--------------------|
| グループ1：地産地消×プロモーション |
| グループ2：自然・学び×観光 |



第3回ワークショップは、第1・2回のメンバーが合流し、具体的なアクションにつなげるため、取組アイデアを膨らませるプログラムを予定しています。本プロジェクトは、第3回のみ参加も大歓迎ですので、興味のある方、一緒に活動に取組んでみたい方、ぜひご参加ください。



01 開催概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」は、2022年3月に策定された「東部振興構想」に掲げられた東部地域の将来像“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～の実現をめざし、アクションプランに位置付けられた取組です。

全3回のプログラムによるワークショップを、東部市民センターで開催しました。

今回は第3回の様子をお伝えします。

日時：2024年5月26日（日）
10:00～12:30

会場：東部市民センター

参加者数：15名



当日のプログラム

第1回・第2回で考えたアイデアをさらに具体化！

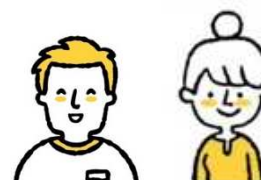
- 第1回・第2回の振り返り
- 個人ワーク
みんなでシェアしよう！
- グループワーク
- 全体発表



02 第1回・第2回振り返り

第3回は、第1回と第2回の各参加者が集まる合同開催。さらに、今回初めてという方の参加もありました。

そのため、第1回と第2回の取組アイデアを一覧資料で振り返り、参加者全員で、ワークショップで出てきた、参加者の興味・関心のあることや、取組アイデアを共有しました。



03 個人ワーク&みんなでシェアしよう！

「大学で地域の方たちと交流できる収穫体験・調理会」、「東部地域で収穫したブドウ・桃で料理」といった“食”にまつわるアイデアや、「空き家を活用した劇的ビフォーアフター」、「多世代が多様な学びのできる居場所づくり」、「企業との連携」などのアイデアが出てきました。

アイデアを共有する中で、活動アイデアへの想いが似ていることや、コラボできそうなアイデアがあることなど、参加者間の気づきも生まれました。

主体となって活動していきたい方は、さらに踏み込んだ内容や活動への想いも発表しました。他のメンバーは、自分が考えている活動の方向性と比べながら聞くことで、このあとのチーム分けの参考にしました。



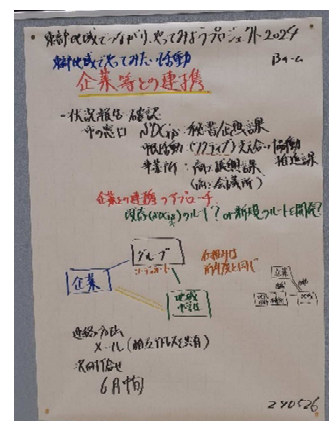
05 グループワーク・全体発表

主体となって取り組みたい方を中心としながら、参加者のみなさんがワークシートに書き込んだアイデアやシェアした内容をもちに、3つの活動テーマに分かれました。参加者は、自分が興味のあるテーマや方向性の近いグループに入り、ワークを行いました。

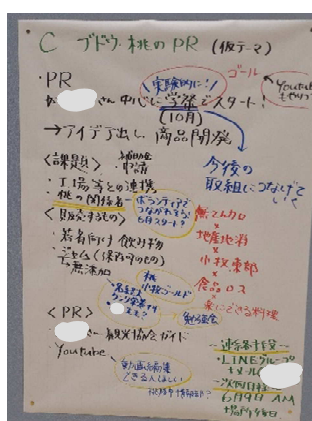
今回のワークショップでは、参加者はどれか1つのチームに入りましたが、今後自分で新たにチームを立ち上げたり、複数のチームに所属したりすることもできます。

第3回ワークショップで生まれた活動テーマ

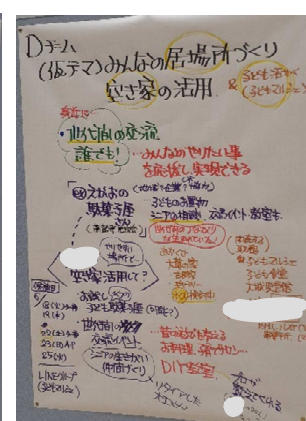
- ①企業等との連携
 - ②ブドウ・桃のPR
 - ③みんなの居場所づくり・空き家の活用
- ※こどもマルシェと一緒に活動内容を検討



①企業等との連携



②ブドウ・桃のPR



③みんなの居場所づくり・
空き家の活用
※こどもマルシェと
一緒に検討

今回のワークショップで生まれた活動テーマに沿って、各チームで活動の目的、取組んでいくこと、課題となりそうなこと等について話し合いをしました。

①「企業等との連携」チームでは企業へのアプローチ方法が課題として挙げられました。②「ブドウ・桃のPR」チームでは、桃の生産や加工に関わる専門知識を持った人や事業所とのつながりが必要となることなどが挙げられました。③「みんなの居場所づくり・空き家の活用」チームでは、世代間の交流を目的として、地域や企業に協力してもらいながら進めていけないか、などの意見が出ました。グループワークによって、ほかの方の経験やコネクションを知ることで、今後の活動の幅を広げることにつながりました。

本日できた暫定のグループで今後の連絡手段と次回の打合せ日程を決めました。今後の打合せによってどのような活動が生まれるかが決まります。これからの活動に注目です！



▲グループワークの様子